

国本中学校 校長室だより

令和3年2月15日発行 宇都宮市新里町丁1608-19
TEL 665-1146 FAX 665-1592

《ごめんなさい》

ごめんなさい。1月に校長室だよりを出し忘れてしまいました。ですので、今回(第9号)は、2ヶ月分の内容となります。本当に申し訳ありませんでした。

《益子杯①(3年球技大会)》

12月4日(金)5・6校時に、3年生が球技大会を行いました。学年主任の名前から「益子杯」だそうです。

男子は、バスケットボールとサッカーを、女子はバスケットボールとドッジボールを、クラス対抗で行いました。天候にも恵まれ、暖かな日差しの中、生徒たちは元気いっぱい全力で戦っていました。楽しいひと時が過ごせたと思います。



《校内人権週間》

本校では、世界人権宣言の採択日である12月10日にあわせて12月7日(月)～12月11日(金)を校内人権週間として位置づけ、チラシを各教室に掲示したり、生徒会長が校内放送で呼びかけたり、図書室に人権コーナーを設置したり、と様々な取り組みを行っています。

10日は、特に「人権デー」ということで、栃木県中学校人権作文コンテストで銀賞を受賞した上野真優さん(3年)が、テレビ放送を使って作文発表をしてくれました。

上野さんの発表は、戦争の悲惨さを、その当時の人々の写真を使って、人々の気持ちや生活から訴えかける素晴らしい発表でした。ありがとうございました。



《益子杯②(3年運動会)》

12月11日(金)5・6校時に、3学年運動会が実施されました。

先週の球技大会に続いて益子杯2日目として実施されたこの運動会では、クラス全員による団体種目2競技が行われました。その2競技は、「障害走全員リレー」と「台風の目」でした。「台風の目」は、体育祭でもお馴染みの競技ですが、「障害走全員リレー」は今回のオリジナル競技で、「なわとび走」、「電車ごっこ走」、「ドリブル走」、「土のう走」など全部で10種類の走り方でリレーするというものでした。

生徒たちは、先週に引き続き受験勉強の息抜きとしての活動を笑顔いっぱい楽しんでいました。



《2年農園収穫作業》

12月18日(金)に2学年が大根の収穫を行いました。

今年、コロナによる休校で、毎年作っていたサツマイモを植えることが出来ず、代わりに大根の種を蒔き、育てていました。大根を学校で作るのは初めてで、どうなるのかと思っていましたが、何とか収穫出来ました。

種を蒔くのが遅かったのか、肥料が足りなかったのか、大根は全体的に小ぶりでしたが、収穫量は多く、生徒たちもうれしそうでした。



《教員研修(特別の教科道徳)》

12月24日(木)に「特別の教科道徳」の職員研修(要請訪問)が、宇都宮市教育委員会指導主事の和田千明先生をお招きして、行われました。

研究授業に協力してくれた1年3組の生徒たちは、授業のテーマである「命」について「骨髄バンク移植第1号」となった人たちの話をもとに自分の意見をしっかりと発表していました。授業に取り組むその姿勢に、指導主事の和田先生も大変感心していました。

また、授業研究会では、先生方が様々な角度から本日の授業を考察し、参考になった点と課題点を発表していました。

研究会の最後には、和田先生からありがたい指導講評もいただきました。素晴らしい研修会になったと思います。



《2年生立志式》

2月4日(木)5校時に、2学年の立志式が行われました。この立志式では、発表者用に初めてコロナ対策用のアクリル板を使用しましたが、表情が見えてとても聞きやすいと感じました。

立志式では、学校長式辞、知事メッセージ、代表生徒発表が行われ、校長式辞では、昨年と同じく坂本龍馬のエピソードから「優しさ」について話し、「皆さんも是非優しい人間になって欲しい」とお願いしました。

続いて、代表生徒発表では、高橋さんが「ご両親への感謝とこれからの決意」を、川津さんが「野球への努力と獣医師への夢」を、岩田さんが「剣道への思いと看護師への夢」を、飯島さんが「家族や周りの人への感謝とこれからの自分の思い」をしっかりとした態度で、力強く、発表しました。発表を聞く2年生全員の態度も立派で、素晴らしい立志式でした。



《あとがき》

国の非常事態宣言は解除されましたが、栃木県は、21日までを「特定警戒」レベルとしています。そこで、本校も気を緩めることなく、感染予防対策をしっかりと行いながら、日々の教育活動の充実に努めていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。(文責 校長 戸部)